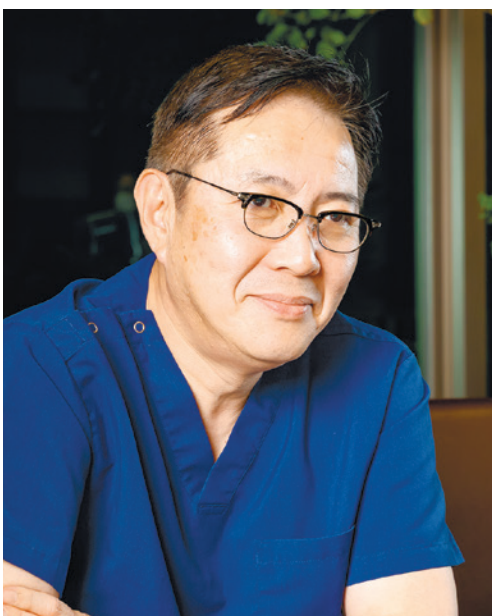




別府湾腎泌尿器病院 病院長

佐藤 文憲氏

前立腺がんで低侵襲医療を実践

前立腺がんなどの泌尿器科領域で、身体への負担軽減に配慮した低侵襲医療を積極的に取り入れる。検査、診断から手術をはじめとするさまざまな治療を提供している。

前立腺がんは中高年男性に多く、加齢によるホルモンバランスの変化や食の欧米化もあってリスクは増加傾向との報告がある。採血で前立腺がんをスクリーニングできるPSA検査は、自由診療

の場合で3千円ほど。「早期発見のためにも、50歳からは定期的な検査を」と呼びかける。

詳細な診断では、MRI（磁気共鳴画像法）と3D超音波の融合画像を使い、がんが疑われる箇所から組織を採取する（ターゲット生検）。「テクノロジーの進歩で、がんが疑われる場所を3Dで把握し、組織採取が可能になっている。正確な生検は治療法の選択肢を考える上

でも非常に大事」と説明する。

2025年1～10月は、腹腔鏡下手術支援ロボットを使った前立腺全摘除術を104件、腎悪性腫瘍手術は12件実施した。佐藤院長自身、週3日は手術室に入る。

「ロボットはこの分野で欠かすことのできないインフラのようになってきた」と感じる一方で、治療法の選択は「手術ありき」でなく、患者との対話に重きを置く。

「高齢者でも手術という選択は可能だが、放射線や薬物療法もある。それぞれ

の治療法のメリット、デメリットを示し、体調やご本人の思いなどを踏まえて決めることが大事ではないか」と考える。早期発見から治療まで一貫して向き合う。

尿失禁や尿管結石、前立腺肥大など、泌尿器分野の疾患は男女の別なく多い。「放っておくのはよくない。悪い病気が隠れていないか確認し、生活の質を高めるためにもまずは検査してほしい」

内科領域も含め、患者の思いに寄り添い、それぞれに適した医療の提供を模索し続ける。



患者に寄り添った治療方針を提案

病院DATA

●診療科目

泌尿器科、内科、循環器内科、糖尿病内科、婦人科
リハビリテーション科、放射線科、麻酔科(局麻)

●診療時間

平日／9:00～12:30、13:30～17:30

土曜／9:00～12:30

●休診日

第5土曜、日曜、祝日、年末年始



別府湾腎泌尿器病院

別府市北石垣深町851番地

TEL0977-66-4111

<https://bbuh.jp>

